

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	03	01	02	134110	高齢者福祉サービス基盤整備事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-5	福祉の充実			
	施策	2	高齢者福祉の充実			
目的	介護サービス施設の待機者解消					
対象	介護施設を整備した法人					
意図	介護施設のサービスの充実を図る					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 老人福祉施設建設資金借入償還金補助 老人福祉施設の建設、改築時の借入償還金元利補給 <input type="checkbox"/> 介護施設等整備事業費補助 介護サービスの向上・効率化に向けた介護ロボット導入に対する補助						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		事業協力・協定		
		<input type="checkbox"/> 補助・助成		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 補助金交付施設数	施設	計画		8	13	
		実績		9	13	
②		計画				
		実績				
③		計画				
		実績				
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 介護施設（特養、老健、療養型病床）及びグループホームの入所定員数	人	目標		1,538	1,623	
		実績		1,538	1,538	
②		目標				
		実績				
③		目標				
		実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="checkbox"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成28年度に計画していた地域密着型特別養護老人ホーム2施設58床、認知症高齢者グループホーム2施設27床の整備は、事業者を決定したものの全て平成29年度へ繰越したため、目標に届かなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	特別養護老人ホームの入所待機者の解消のための施設整備は、保険者である市の計画に基づき行われるものである。
	<input type="checkbox"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	新たな施設整備については、長期的な展望に立ち計画的に実施する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・借入償還補助については、建設時の契約によるものである。また、新設等の施設整備補助等は国・県の補助制度に沿ったものである。 ・職員の事務は、補助金交付事務等であるため、人件費の削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	第6期介護保険事業計画期間における整備計画に基づき、公募により事業者を決定し、受益機会をより公平に図っていくものとする。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
第6期介護保険事業計画期間内においては、在宅サービスを重視しつつも、整備計画に基づき特別養護老人ホームの入所待機者の解消に努める必要がある。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	03	01	02	134110	高齢者福祉サービス基盤整備事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		62,293	62,675		382
財 源 内 訳	国・県	3,100	4,635		1,535
	地方債				
	その他				
	一般財源	59,193	58,040		△ 1,153

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいをもち、安心した生活を送っています。

事業開始の背景・経緯

第6期介護保険事業計画における施策目標「介護サービスの充実」に基づき、施設を整備する事業者に補助するものである。

事業概要

- 老人福祉施設建設資金借入償還金補助
老人福祉施設の建設、改築時の借入償還金元利補給
- 介護施設等整備事業費補助
介護サービスの向上・効率化に向けた介護ロボット導入に対する補助

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

介護保険のサービスについては、在宅サービスを重視しつつも、整備計画に基づき特別養護老人ホームの入所待機者の解消に努める。

担当部署 部名 健康福祉部 課名 長寿福祉課 担当係長 佐藤 ひとみ 内線 580

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

◎ 老人福祉施設建設資金借入償還金補助 58,040千円

【内容】老人福祉施設の建設・改築時の借入償還金元利補給

8施設

- 特別養護老人ホームいしどりや荘 11,446千円
- 特別養護老人ホーム東和荘 1,050千円
- 特別養護老人ホーム大谷荘 16,314千円
- 矢沢地域福祉センター 7,519千円
- 西南地域福祉センター 4,163千円
- 宮野目地域福祉センター 4,163千円
- 軽費老人ホームケアハウス花巻 6,910千円
- 特別養護老人ホームあすかの里 6,475千円

◎ 介護施設等整備事業費補助 4,635千円

○介護ロボット等導入支援事業補助金 4,635千円

【内容】介護サービス事業者が介護ロボットを導入する際の経費の一部を助成
(1事業所当たり上限927千円)

927千円×5事業所=4,635千円